

サニールージュ

登録番号: 第8561号	小澤俊治 角谷真奈美 中島
登録年月日: 平成12年12月22日	育子
登録者: 農林水産省果樹試験場(茨城県つくば市藤本2-1)	来歴: 「ピオーネ」と「レッドパール」の交雑実生
育成者: 山根弘康 山田昌彦 栗原昭夫 吉永勝一 平川信之 永田賢嗣 佐藤明彦 岩波宏松本亮司 角利昭 平林利郎	育成地: 広島県豊田郡安芸津町(農林水産省果樹試験場カキ・ブドウ支場)

特性

■栽培特性

樹勢は中程度で、新梢の伸びも中程度である。熟梢の色は暗褐色で登熟は中程度である。「テレキ5BB」を台木とした場合に台負けが少し認められる。葉の大きさは「デラウェア」より大きく、葉形は五角形、五片葉である。花芽の着生は良好で、1新梢当たり4花房をつける。花は両性花である。発芽期は中ぐらいで、「デラウェア」より遅く「巨峰」と同時期である。開花期も「巨峰」と同時期である。

■果実特性

果皮色は赤褐色または紫赤色であり、「デラウェア」と同様に着色は安定している。ジベレリン無処理の場合3～4gの無核果粒が多くつき、有核果粒はほとんどつかないが、ジベレリン処理により無核果粒が肥大し5～6gとなる。ジベレリン処理で肉質は「崩壊性」と「塊状」の中間程度であるが、ジベレリン処理によりやや硬くなり、「巨峰」の肉質に近いものとなる。糖度は19%程度、酸含量は0.5%程度と「巨峰」と同程度であり、食味は良好である。渋味は若干生じるが問題とならない。香りはフォクシー香(アメリカブドウの香り)を有する。果皮の厚さは中程度で「デラウェア」並みであり、裂果はほとんど見られない。果皮と果肉の離れやすさは「巨峰」と同程度である。

育成地における露地での成熟期は8月中下旬であり、「デラウェア」と「巨峰」の中間である。日持ち性は「デラウェア」と同程度でかなり長い。

■病虫害抵抗性および栽培上の留意点

黒とう病、べと病などに対する抵抗性はかなり強く、「巨峰」の防除基準で防除を行っても病害発生は認められない。うどんこ病にも強く「デラウェア」程度の抵抗性を有すると考えられる。

長梢栽培では開花前に1枝1房とし、満開時に枝梗上部を落とし下部をわずかに切り落として整房を行う。満開4～5日後と10～13日後にジベレリン25ppm処理を行うと無核果粒の結実が大きく向上し花振いも少なく、果粒の密着した商品性の高い果房が得られる。摘粒は、果粒が6g程度の場合には9cmの軸に65粒とすれば400g程度の果房となる。7gの場合でも同様の方法により450g程度の果房が得られる。

■地域適応性

東北地方南部から九州に至る広い範囲で栽培可能である。東北地方北部以北での耐寒性は明らかになっていない。

(三谷宣仁)